

煤 塵 車 更

以於茲衣の續將不を其入事を煤塵車出
 するが會指云々の事計の非を了了去賦近五の域因了するもの
 警せる煤甚大を以て貴會指の了了と煤粉の同計製の間取
 る事計を其の間取の苦闘其の煤の製了了の今益生計の煤
 の煤粉の了了と一日と早く續將煤製と最時を煤當計の煤製を
 煤製申上りするを指計の申了了と今日に至る迄煤製煤
 五の指する煤製指の自働車買上問取の了了其の煤貴會指の煤
 去る部煤の平六日六日蘇木煤製谷川煤製の了了出を其去賦近
 煤 塵 車 更
 刺計を了了す。
 鼠の鼠製煤製を指問了了を煤製の内容を指了了且の煤製を了了
 煤同盟式煤製煤製煤製四煤製煤製合同後煤製合指指二谷の煤製

法人 協同會 福岡出張所

法人 協同會 福岡出張所

- 1、即時自動車を買上げられ度し
 - 2、慰勞金を支給せられ度し
 - 3、會社及社長に對する借金の棒引をされ度し
 - 4、ガンリン及部分品の中間搾取金を即時拂戻され度し
 - 5、今後直營に依るも引續き採用され度し
 - 一、十時間勤務制度
 - 二、公休日の制定
 - 三、公用出張費金額會社負擔
 - 四、事故費の半額會社負擔
 - 五、深夜の修繕撤廢
- 昭和九年六月二十八日（七名記名調印）
- 會社側では右歎願書に對し六月三十日自動車買收價格を發表
 1 従業員側の要求七台一萬百圓に對し會社側は六千九百五十